

川島武宜 （編者） 民法學・法社會學者、法醫學博士。明治四十二年十月十七日岐阜縣生れ、平成四年五月二十一日没（一九九一年）。舊姓高木。昭和七年東京帝國大學法學部卒。二十年同大教授。民法學、法社會學上の業績多し。平成二十二年文化功勞者。

- 『譯書』、エー・ルリツと著『權利能力論』（二藤正典譯、昭和十七年一月十日岩波書店）。著書『日本農村の生活意識』（昭和二十一年七月十日長野・農村文化協會長野縣支部「農村文化叢書」）、『再建の指標』（合著・東京帝國大學新聞社編、昭和二十一年十月二十日勤勞學徒後援會「學徒叢書」）、『新憲法の研究』（合著・國家學會編、昭和二十一年十月一日有斐閣）、『所有權法の理論』（昭和二十四年一月十五日岩波書店）、『債權法總則講義・第一』（昭和二十四年十一月二十日岩波書店）、『民法講義・第一卷「序説」』（昭和二十六年五月十五日岩波書店）、『現代人の生態—ある社會的考察』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十八年十一月二十日大日本雄辯會講談社）、『結婚』（昭和二十九年五月二十日岩波書店「岩波新書」）、『家庭の法律』（昭和二十九年五月二十日岩波書店「岩波新書」）、『日本の社會と生活意識』（昭和三十年十一月五日學生社「學生社新書」）、『結婚の理想と現実』（昭和三十一年五月十五日中央公論社）、『デオロギーの家族制度』（昭和三十一年一月二十日岩波書店）、『法律相談』（共編、昭和三十一年十月十日岩波書店「岩波新書」）、『七の岩波書店「岩波新書」』、『法社会学・上』（昭和三十一年七月一日



十八日岩波書店)、 『近代社会と法』 (昭和二十四年一月二十日岩波書店)、 『入会権の解体』 全二册 (共編、 昭和二十四年九月二十一日四十二年八月二十八日岩波書店)、 『経験法学の研究―社会統制の史的技術とこれの法を中心として』 (編、 昭和四十一年二月十六日岩波書店)、 『日本人の法意識』 (昭和四十一年五月二十日岩波書店『岩波新書』)、 『法社会学講座』 全十卷 (編、 昭和四十七年四月十七日―四十八年四月一日岩波書店)、 『自動車事故とあぐらの紛争処理と方法』 (平野竜一共編著、 昭和五十二年十一月十五日岩波書店)、 『川島武宜著作集』 (第一卷・昭和五十七年一月十八日―第十一卷・六十二年六月二十日岩波書店) 等。